（様式４）

**二国間交流事業 共同研究報告書**

令和　　年　　月　　日

　独立行政法人日本学術振興会理事長　殿

共同研究代表者所属・部局

（ふりがな）

職・氏 名

1. 事業名　相手国（　　　　　　　　）との共同研究　　振興会対応機関（　　　　　　　　　　　）
2. 研究課題名
3. 全採用期間

平成（令和）　　年　　月　　日 ～ 令和　　年　　月　　日 （　　年　　ヶ月）

1. 経費総額

本事業により執行した研究交流経費総額：　　　　　　円

初年度経費　　研究交流経費：　　　　円

２年度経費 　研究交流経費：　　　　円

３年度経費 　研究交流経費：　　　　円

5．研究組織

（1）日本側参加者（実施期間中の参加者全員（途中から参加／不参加となった方も含む））

　　　※途中から参加／不参加となった場合は、参加期間も記入してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 氏　名 | 所　属・職　名 |
|  |  |

（2）相手国側研究代表者

所属・職名・氏名

（3）相手国側参加者（実施期間中の参加者全員（途中から参加／不参加となった方も含む））

　　　※途中から参加／不参加となった場合は、参加期間も記入してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 氏　　名 | 所　属・職　名 |
|  |  |

\*(1)、(3)共に代表者は除きます。6．研究実績概要（全期間を通じた研究の目的・研究計画の実施状況・成果等の概要を簡潔に記載してください。）

7．派遣・受入実績

1. **【派遣】**各研究期間中に相手国または相手国以外の国を訪問した日本側参加者氏名、派遣期間（移動日を除いた派遣先における滞在期間）、主たる訪問先（相手国以外の国における訪問先には下線を引き、国名を明記してください。委託費から支出した出張のみ記載してください。ただし、日本国内出張は除きます。）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 氏名 | 期 間  （現地到着日～現地出発日） | 主たる訪問先  （機関名・国名） |
| 1年度目 |  |  |  |
| 小計　　　名（延べ人数） |  |  |
| 2年度目 |  |  |  |
| 小計　　　名（延べ人数） |  |  |
| 3年度目 |  |  |  |
| 小計　　　名（延べ人数） |  |  |
|  | 合計　　　名（延べ人数） |  |  |

（２）**【受入】**各研究期間中に受け入れた相手国側参加者氏名、来日期間（移動日を除いた日本における滞在期間）、主たる訪問先（振興会から滞在費等の支給を受けた研究者に＊印をつけてください。）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 氏名 | 期 間  （来日日～離日日） | 主たる訪問先  （機関名） |
| 1年度目 |  |  |  |
| 小計　　　名（延べ人数） |  |  |
| 2年度目 |  |  |  |
| 小計　　　名（延べ人数） |  |  |
| 3年度目 |  |  |  |
| 小計　　　名（延べ人数） |  |  |
|  | 合計　　　名（延べ人数） |  |  |

8．研究の成果（｢6．研究実績概要｣の内容と対応させつつ、本研究によって得られた新たな知見、成果、及び一般国民にとってどのようなメリットがあったかを平易な表現で記述してください。また、特に強調したい部分には下線を引いてください。）

(1)学術的価値（本研究により得られた新たな知見や概念の展開等、学術的成果）

(2)相手国との交流（両国の研究者が協力して学術交流することによって得られた成果）

(3)社会的貢献（社会の基盤となる文化の継承と発展、社会生活の質の改善、現代的諸問題の克服と解決に資する等の社会的貢献はどのようにあったか）

(4)若手研究者養成への貢献（若手研究者養成への取り組み、成果）

(5)将来発展可能性（本研究・交流事業を実施したことにより、今後どの様な発展の可能性が認められるか）

(6)その他（上記(1)～(5)以外に得られた成果があれば記述してください）

例：大学間協定の締結、他事業への展開、受賞、産業財産権の出願・取得など

9.研究発表

最終年度において本共同研究の一環として本事業による支援を受けたことを明示して発表したもの（日本側参加者の発表のみ（イ．①除く））について発表順に記入してください（事務取扱の手引10-6-2(2)参照）。最終年度以降でも、発表が確定しているものに関しては、発表月記載の上記入して構いません。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| イ．論文発表 | | |
| 1. 相手国側参加者との共著論文 | | |
| 番号 | 著者名、発表論文名、発表誌名、巻号、掲載頁、発刊年月【全てこの順に記載】 | |
|  |  | |
| ② ①以外の論文 | | |
| 番号 | 著者名、発表論文名、発表誌名、巻号、掲載頁、発刊年月【全てこの順に記載】 | |
|  |  | |
| ロ．学会発表（国内・国外における発表を区別して記入してください。また、**学会参加費や旅費を本経費から支出した場合については「経費」欄に○を付してください。**） | | |
| 番号 | 経費 | 発表者名、発表題目名、学会等名、開催国名（国外の場合）、口頭・ポスターの形式、発表年月【全てこの順に記載】 |
|  |  | 【国内】 |
|  |  | 【国外】 |
| ハ．出版 | | |
| 番号 | 著者名、著書名、出版社名、刊行年月日の順【全てこの順に記載】 | |
|  |  | |

（個人情報にかかるチェック項目です。以下の内容を必ず確認し、貴機関において適切に管理いただき、チェックしたうえでご提出ください。）

本事業に係る個人情報を適切に管理し、また報告書類に記載の個人情報については、本人の同意を得るなど必要な手続きを経た上で振興会へ提出しています。

＜備考＞

1. この報告書は､全採用期間が終了した翌月末または令和2年4月末日のいずれか早い方の日までに提出してください。
2. 振興会の事業報告等に記載するための適当な写真がありましたら､説明を付して添付してください。
3. この報告書の1.事業名～7.派遣・受入実績は、交流成果として本会ホームページに掲載するほか、報告書全てを閲覧用に公開します。また、この報告書を振興会の事業報告として刊行する場合､内容に影響しない範囲で修正を行うことがあります。

４．「8．研究の成果」以降の様式については、必要に応じて、適宜記入欄を拡大して構いません。